咲き誇る、日本の美意識。

大英博物館
日本美術コレクション

百花繚乱

海を越えた江戸絵画

Edo in Focus
Japanese Treasures
from the British Museum

2026 10.31(土) ～ 2027 1.31(日)

開場時間｜午前10時～午後5時（入場は16時30分まで）
休 館 日｜月曜日、11月24日(火)、12月31日(木)、1月1日(金・祝)、1月12日(火)
＊11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝)は開館
主　　催｜大阪中之島美術館、大英博物館、朝日新聞社、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿
後　　援｜国際浮世絵学会、ブリティッシュ・カウンシル
協　　賛｜光村印刷、京阪ホールディングス

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

The British Museum

左下から時計回り 円山応挙《虎図》(部分) 1775年 ／ 円山応挙《花鳥図》(部分) 1764-1772年 ／ 河鍋暁斎《鳥獣戯画 鼠曳く瓜に乗る猫》(部分) 1879年 ／ 歌川国芳《相馬の古内裏》(部分) 1845-1846年 ／ 喜多川歌麿《文読む遊女》(部分) 1805-1806年 ／ 葛飾北斎《「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」》(部分) 1831年頃 すべて大英博物館蔵 © The Trustees of the British Museum



円山応挙《花鳥図》1764-1772年

応挙、北斎、歌麿…
世界を魅了した傑作、大集結！



喜多川歌麿《文読む遊女》1805-1806年



円山応挙《虎図》1775年

Edo in Focus
Japanese Treasures from the British Museum

1753年に開館した大英博物館は、世界を代表するミュージアムのひとつです。同館の日本美術コレクションは、海外では最も包括的なもののひとつと評されるほど量・質ともに充実しています。そのコレクション形成を支えてきたのは、ジャポニスムが流行した19世紀後半以来、海を隔てた異国の地・日本の文化に魅了された人々でした。外科医ウィリアム・アンダーソン（1842～1900）をはじめ、数々の収集家や学芸員が大英博物館と関わり、活躍しました。彼らが築いたつながりは、国境や時代を越えて広がり、今日まで受け継がれています。

本展では、4万点に及ぶ同館の日本コレクションから、江戸時代の屏風、掛軸、絵巻の絵画作品と、歌麿、写楽、北斎、広重など代表的な8人の浮世絵師による版画を中心に、優れた作品を厳選してご紹介いたします。さらに、近年の調査成果や収集の背景にも光をあてることで同館が日本美術の収集・研究・保存の第一線で果たしてきた役割をたどります。それは、国際的な文化交流の歴史を振り返ると同時に、大英博物館に受け継がれてきた日本美術の名品と、今日を生きる私たちとのあいだに新たな対話をひらく機会ともなるでしょう。



河鍋暁斎《鳥獣戯画 鼠曳く瓜に乗る猫》1879年



歌川国芳《相馬の古内裏》1845-1846年



葛飾北斎《「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」》1831年頃

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

展覧会公式サイト | https://daiei-ten2026.exhibit.jp

お問合せ | TEL.06-4301-7285（大阪市総合コールセンター） 受付時間 | 8:00－21:00（年中無休）

※展覧会の詳細については、諸事情により変更する場合がありますので、最新情報は展覧会公式サイトでご確認ください。

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1 京阪：中之島線 渡辺橋駅（2番出口）より南西へ徒歩約5分 Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅（4番出口）より西へ徒歩約10分 JR：大阪環状線 福島駅／東西線 新福島駅（2番出口）より南へ徒歩約10分 阪神：福島駅より南へ徒歩約10分